

平成29年度

事業計画並びに  
一般会計収入支出予算書

# 平成29年度 横浜市港北区社会福祉協議会 事業計画

## 1 事業推進方針

平成 29 年度は改正社会福祉法が全面施行されます。社会福祉協議会は社会福祉法人であると同時に社会福祉法人・福祉施設、民生委員・児童委員、地域住民をはじめ様々な関係者によって構成されている公共性が高い組織であり、組織のガバナンスの強化や事業運営の透明性の確保への一層の対応が必要となります。また、これまで以上に、地域の福祉課題・生活課題に即した地域支援が求められます。

生活支援体制整備事業は2年目を迎え、アセスメント結果を踏まえ、地域の実情に応じた具体的な生活支援体制整備に向けた取り組みを地域関係者とともに推進する年となります。

横浜市社協長期ビジョン2025中期計画は4年目、港北区福祉保健計画「ひっとプラン」の第3期計画は2年目に入りました。地域課題の解決に向けて、区計画の推進と地区計画への支援を着実に進める必要があります。

平成 28 年度は熊本地震をはじめ、大きな自然災害も多く発生しました。横浜市において大きな災害が起こることを想定して、港北区災害ボランティアセンターとしての体制をさらに充実させることが求められます。いざという時に対応できる体制の整備や関係団体との連携を一層強化します。

これらの状況を踏まえ、本会がこれまで取り組んできた地域支援と個別支援の融合を目指した取り組みや多くのみなさまからなる会員組織としてのネットワークを活かすとともに、行政や地域ケアプラザとの連携をさらに深めます。その取組を通し、支え手と受け手に分かれるのではなく、地域のあらゆる住民が役割を持ち、支えあいながら自分らしく活躍できる地域共生社会を目指し、「誰もが安心して健やかに暮らせるまち港北」の実現に向けて取り組みます。

## 2 重点事業

### 〔重点事業1〕 身近な地域の生活支援体制整備に向けた対応

取組概要	具体的な取組
個別の生活課題の解決のため、小地域での身近な地域のつながり・支えあい活動を拡大し、地域支援を展開します。	1 こどもの居場所づくり支援など、個別（狭間）ニーズの把握から地域における支援の仕組みづくりの推進 2 事業担当、地区担当、生活支援コーディネーターの業務連携強化
アセスメントシートや地区活動チェックシート等のツールを活用した地区状況、地域活動の実態把握を進め、地区支援の強化に向けて地域ケアプラザと一体的に取り組めます。	1 ケアカンファレンスや地域ケア会議へ参画 2 地区活動チェックシートの充実・活用 3 民生委員との連携強化

## [重点事業2] 地区社協活動・小地域活動の支援

取組概要	具体的な取組
地区社協の中間支援機能の推進を図り、地区社協活動・小地域での支えあい活動の支援を強化します。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 配食、サロン、たすけあい型ボランティア活動など生活支援型活動の支援の推進</li> <li>2 地域の小さな活動を把握し、発展させる取組の推進</li> </ol>

## [重点事業3] ボランティアセンター機能の強化

取組概要	具体的な取組
区社協ボランティアセンターの区域でのボランティアコーディネート機能・役割を強化します。また、コーディネート機関・団体等との連携を促進します。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域ケアプラザやコーディネート機関・団体等との連携促進</li> <li>2 コーディネート機関・団体の連絡会の開催</li> </ol>
災害ボランティア連絡会や関係機関との連携を強化し、災害時に対応できる体制を整備します。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 防災計画、事業継続計画（BCP）の見直しと改訂</li> <li>2 地域防災拠点との連携強化</li> <li>3 緊急備蓄物資等の整備</li> </ol>
対応困難な相談の解決のため、社協内並びに他団体との連携を強化します。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 移動情報センター、生活支援体制整備事業等との連携</li> <li>2 ボランティアグループ、関係団体との連携</li> </ol>

## [重点事業4] 第3期港北区福祉保健計画の推進

取組概要	具体的な取組
港北区福祉保健計画「ひっとプラン」第3期計画（平成28年度～32年度）の2年目であり、着実に計画を推進します。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 区域計画における社協の取組（地区活動・活動団体支援、担い手育成、ネットワーク促進等）の推進</li> <li>2 地区計画推進支援</li> </ol>

## [重点事業5] 法人運営の基盤強化（社会福祉法改正への対応）

取組概要	具体的な取組
社会福祉法改正への対応を通して、事業運営の透明性の向上と地域の福祉課題解決の取組を進め、より一層信頼される組織とします。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 評議員会の機能強化など、経営組織のガバナンスの強化</li> <li>2 財務規律の強化</li> <li>3 社会福祉法人と連携した地域課題解決への取組強化</li> </ol>

上記の重点事業を具体的に進めるために「Ⅰ 福祉啓発」「Ⅱ 個人の自立支援」「Ⅲ 地域の福祉力向上」「Ⅳ ボランティア活動の推進」「Ⅴ 信頼される組織運営」の5本柱で本会事業を進めてまいります。

### 3 事業計画

#### I 福祉啓発

<p><b>1 ITを通じた情報発信・区社協ホームページの運用【拡充】</b>  <b>&lt;中期計画 5-1&gt; &lt;ひっと とどく-1&gt;</b></p> <p>区社協ホームページにより情報を発信します。            内容更新を随時行い、地区社会福祉協議会の活動、ボランティア募集情報(ボランティア通信、コボット等)を一般に向けて情報発信します。さらに、活動や事業等に関するお問い合わせの電子メール受付を行います。            ※区社協の情報の発信頻度をあげるため各種SNSの利用、HPの刷新を検討します。            また、アクセシビリティへの配慮等を含めた情報発信体制の見直しを行います。</p> <p>【ホームページアドレス】 <a href="http://www.kouhoku-shakyo.jp/">http://www.kouhoku-shakyo.jp/</a>            【電子メールアドレス】 <a href="mailto:hokuhoku@kouhoku-shakyo.jp">hokuhoku@kouhoku-shakyo.jp</a></p>	<p>単位:千円            [ ]前年度予算額            750 [1,410]</p> <hr/> <p>(共同募金) 650            (指定管理料) 100</p>
<p><b>2 広報紙「ふくしのまど」「ボランティアセンター通信」の発行</b>  <b>&lt;中期計画 5-1&gt; &lt;ひっと とどく-1&gt;</b></p> <p>地域の福祉活動・区社協事業・ボランティアセンター情報を広報紙「ふくしのまど」を通じ、地域新聞を媒体として定期的に応報します。地域新聞発行の範囲外については、増刷して自治会、町内会回覧で情報提供していきます。            また、区社協オリジナルの広報誌を年2回発行し、わかりやすい親しみのある区社協になるようPRを工夫していきます。オリジナル広報紙は町内回覧も依頼していきます。</p> <p>◆発行予定            「ふくしのまど」年4回【5月・7月・10月・2月】 その他、特別号の発行を1回行います。            「オリジナル広報紙(タイトル未定)」年2回 6月・12月(予定)</p> <p>◆発行部数:「ふくしのまど」67,500部/回 +600部(配架等)            ◆配布先:地域新聞に掲載(新聞折込)、拠点窓口、地域ケアプラザ窓口等</p>	<p>単位:千円            [ ]前年度予算額            2,609 [2,498]</p> <hr/> <p>(共同募金) 2,309            (指定管理料) 300</p>
<p><b>3 区社協リーフレットの更新</b>  <b>&lt;中期計画 1-2&gt; &lt;ひっと とどく-1&gt;</b></p> <p>区社協リーフレットを更新し、より効果的・より住民に届く福祉啓発活動を進めます。</p>	<p>単位:千円            [ ]前年度予算額            700 [0]</p> <hr/> <p>(共同募金) 700</p>
<p><b>4 港北ほくほくフェスタ・社会福祉大会の開催</b></p> <p>港北区役所との共催事業として、地域福祉のより一層の発展に寄与するため、港北ほくほくフェスタを開催します。開催にあたっては各種福祉保健活動団体の協力を得ながら進めていきます。            また、会長顕彰規程に基づき地域福祉功労者の表彰状、感謝状の贈呈を行います。</p> <p>◆開催時期:平成29年10月26日(木) (予定)            ◆開催場所:港北公会堂            ◆内 容:社会福祉大会【表彰式典】                      区民フォーラム【地域活動の発表等】</p>	<p>単位:千円            [ ]前年度予算額            620 [611]</p> <hr/> <p>(共同募金) 620</p>

<p><b>5 子育て応援情報サイト、情報地図「ココマップ」による情報提供</b>  <b>&lt;中期計画 1-2&gt; &lt;ひっと とどく-1&gt;</b></p> <p>NPO法人びーのびーのと協働し、港北区内の子育て支援に関する情報を一元的に、情報マップ(紙版)、ホームページを通じて提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ブログを通じたタイムリーな情報提供(ホームページ)</li> <li>◆子育て応援マップ「ココマップ」改訂版の作成と配布</li> <li>◆編集委員会の開催</li> </ul> <p>【ホームページアドレス】<a href="http://www.kouhokushakyo.or.jp/">http://www.kouhokushakyo.or.jp/</a></p>	<p>単位:千円  〔 〕前年度予算額</p> <hr/> <p>1,067 [1,225]  (共同募金) 1,067</p>
--	--

## II 個人の自立支援

<p><b>1 港北区社協あんしんセンター事業の実施</b>  <b>&lt;中期計画 2-1、2-3&gt; &lt;ひとつとどく-1、2&gt;</b></p> <p>高齢の方や障がい者など新規相談者への相談の充実を図ると共に、サービス利用者に対するきめ細やかなサービス提供を行うことで、利用者の自立生活を支援します。</p> <p>地域包括支援センター連絡会 社会福祉士分科会や港北区事業所連絡会「ガンバ港北」に参画、また市民後見人の養成と活動支援を図るため、成年後見サポートネット事務局として全体会、分科会を開催し、権利擁護のネットワーク充実を図ります。</p> <p>また、成年後見サポートネット参画行政書士と連携しての無料相談会の開催や、高齢者シニア大学、居宅介護支援事業所・施設などへの事業説明を通して制度周知し、利用者の開拓を図ります。</p> <p>◆利用対象            ①概ね65歳以上の高齢者 ②成年で障がいのある方(身体・知的・精神)</p> <p>◆サービス内容            ①総合相談②金銭管理・定期訪問③預金通帳など財産関係書類の預かり</p> <p>◆関係機関との連携            ①成年後見サポートネット 全体会・分科会の開催            ②地域包括支援センター連絡会社会福祉士分科会への参画            ③港北区事業者連絡会「ガンバ港北」への役員参画            ④民生委員児童委員への制度周知</p> <p>◆利用者開拓            ①区役所・地域ケアプラザとともにコスモス成年後見サポートセンター県支部 横浜東地区行政書士との巡回無料相談会の開催            ②高齢者シニア大学での講師協力・出張説明            ③港北区独自で製作したチラシや事例集を使用し、関係機関へ制度を広報・周知</p>	<p>単位:千円            [ ]前年度予算額            437 [413]</p> <hr/> <p>(市社協受託金) 139            (利用料) 298</p>
<p><b>2 要援護者移送サービス事業の実施</b>  <b>&lt;中期計画 5-7&gt; &lt;ひとつとどく-1&gt;</b></p> <p>公共交通機関の利用が難しい在宅の高齢者、難病患者、障がい者等を対象とする外出支援サービスを行うことで、通院等の日常の外出を支援します。※要事前登録</p> <p>また、利用者の状況確認や情報共有・技術の向上などを目的に運転ボランティア定例会を開催します。</p> <p>◆利用範囲:原則横浜市内および川崎市中原区            ◆利用時間:月曜日～金曜日 9:00～16:00            ◆利用回数:1週間に1回まで</p>	<p>単位:千円            [ ]前年度予算額            4,362 [4,264]</p> <hr/> <p>(市社協受託金) 3,085</p> <p>(利用料) 960            (賛助会費) 317</p>
<p><b>3 障がい者余暇支援事業の実施</b>  <b>&lt;中期計画 3-7&gt; &lt;ひとつひろがる-1&gt;</b></p> <p>外出を中心とした余暇プログラムを通じて、障がいのある方の生活圏の拡大を図ると共に障がいの有無を超えた仲間作りを進めます。昨年度に引き続き、青年ボランティアグループ「GIFT」の育成と自立を支援します。</p> <p>◆余暇活動プログラム:6月～12月            ◆参加者:障がい者・ボランティア・施設職員等            ◆港北なつとも(港北区学齢障がい児支援事業)へ参画</p>	<p>単位:千円            [ ]前年度予算額            100 [100]</p> <hr/> <p>(共同募金)</p>

<p><b>4 障がい児・者のための外出相談室「おでかけGO!港北」の実施</b>  <b>&lt;中期計画 5-6&gt; &lt;ひとつ つながる-2&gt;</b></p> <p>障がいのある方の移動を支援する情報・相談の拠点として、移動手段の情報入手が難しいという現状を解決するため、的確な情報を提供します。また、相談内容を分析、移動に関する課題を明らかにし、その課題解決のための事業に取り組みます。</p> <p>(1) 相談窓口の強化  ◆地域のボランティアやガイドヘルパー、介護タクシー等の移動情報を収集し、相談者に的確な対応をしていきます。  ◆障がいのある方が相談しやすいようPRに努めます。  ◆スムーズに支援機関と協力体制がとれるよう、連携していきます。</p> <p>(2) 移動支援提供者の連絡会の実施  ◆関係機関との情報共有と地域のネットワーク作りに必要な仕組みを構築します。  ◆ヘルパー事業所や介護タクシー事業所等との連絡会を開催するとともに事業所を開拓します。</p> <p>(3) 地域への啓発  ◆障がい理解を目的に、地域へ向けて出張研修を実施します。  ◆地域で活動しているガイドボランティアとの座談会を開催します。  ◆ニーズが多い通学・通所送迎に関して地域と協力し、ボランティア育成を進めます。</p> <p>(4) 横浜市ガイドボランティア事業の実施  ◆障がいのある方や、難病患者の方が外出するときに付添うボランティアの登録業務を行います。</p>	<p>単位:千円  〔 〕前年度予算額</p> <p>11,254 [11,303]</p> <p>(市受託金) 7,553  (市社協補助金) 701  (賛助会費) 3,000</p>
<p><b>5 各種ネットワークへの参画</b></p> <p>地域福祉に関する様々な支援機関、団体のネットワークに参画して、協働しながら支援体制をとります。区社協の視点を活かし、個別支援ニーズから地域支援課題抽出へつなげていきます。</p> <p>(1) 港北区自立支援協議会 (2) 港北区地域作業所連絡会  (3) こうほく高次脳機能ネットワーク (4) 港北区事業者連絡会「ガンバ港北」  (5) 港北成年後見サポートネット  (6) 港北区地域包括支援センター連絡会 社会福祉士分科会  (7) 港北区高齢者虐待防止連絡会</p>	<p>単位:千円  〔 〕前年度予算額</p> <p>-</p>
<p><b>6 生活福祉資金貸付事業の実施</b>  <b>&lt;中期計画 1-5、5-8&gt; &lt;ひとつ とどく-2&gt;</b></p> <p>必要な世帯に支援が届くように、円滑に事務を進め生活困窮者を支援します。また、生活困窮者自立支援制度の所管との連携も引き続き図っていきます。</p> <p>◆相談支援  相談者の状況に応じて必要な制度の提供や相談支援を実施するため、相談員の研修を実施するとともに区役所やハローワーク等と連携を更に進めます。</p>	<p>単位:千円  〔 〕前年度予算額</p> <p>3,772 [4,249]</p> <p>(県社協受託金) 3,772</p>



- (3) ネットワーク構築  
 地域ケアプラザの生活支援コーディネーター、地域交流コーディネーターと協働し、連絡会の開催等を通じて情報共有を図り、支援者間のネットワークづくりを進めます。
- (4) 民生委員児童委員との連携強化  
 地区民生委員児童委員協議会での区社協事業の説明や生活課題の共有などを通じた連携を進め、地域の支えあいの仕組みづくりに結び付けます。
- (5) 地域における子どもの居場所づくりサポートモデル事業【新規】  
 「子ども食堂」等の地域における子どもの居場所創設や活動の継続に対する支援を行うモデル事業を実施します。本年度は相談窓口として、情報支援やコーディネート支援等を行います。

**4 地域ケアプラザとの一体的な地域支援【重点】**  
**<中期計画 1-1,1-2> <ひっと とどくー1>**

身近な地域のつながり・支えあい活動をより推進するために、一人ひとりの生活に向き合い、その課題の解決にむけて、住民による小地域福祉活動の更なる推進に、地区社協支援、あんしんセンター事業、ひっとプラン港北地区別計画推進支援などの事業面と、13地区別支援面との縦横で、地域ケアプラザと連携を強化し取組みます。

(1) 篠原地域ケアプラザとの連携モデルの企画実施  
 篠原地域ケアプラザとともに篠原地区内の生活課題を住民が早期発見・対応し、日常の見守りに結び付けられるように取組みます。また他法人のケアプラザとも、生活支援体制整備事業の取り組みを活かし、個別支援から地域支援へ結びつける視点を共有していきます。

(2) 地域ケアプラザ「地域ケア会議」「定例カンファレンス」への参画  
 日常生活圏域で地域支援・個別支援する地域ケアプラザとともに、個々人の生活課題の軽減、解消のための方針や具体的活動について区域のネットワーク・強みを活かして協働します。

(3) 地域アセスメントシートの拡充(再掲)  
 人口構成や要介護認定者等数値データや地域の成り立ち、社会資源の特徴を把握し、情報を整備しているアセスメントシートを、「地区活動チェックシート」「懇談会」など地区社協支援を通じて得た情報も反映し拡充します。また区社協・地域ケアプラザで支援の方向性を共有化し、地域課題の解決方法の検討を行います。

(4) 地域ケアプラザコーディネーター連絡会の開催と研修会の実施  
 区内9地域ケアプラザ地域交流担当コーディネーターの事務局として、年間計画、会場確保、関係会議の役割分担などの進行管理をするとともに、理解・連携を密にし課題解決に協働で取組みます。また、地域支援にかかるスキルアップ・ネットワークづくりを目的に、コーディネーターを主な対象にした研修会を開催します。

(5) 地域ケアプラザ5職種全体会の開催支援、ケアプラザ包括支援センター連絡会 社会福祉士分科会への参画

単位:千円  
 [ ]前年度予算額  
 10 [280]  
 (共同募金) 10

<p><b>5 港北みんなの助成金による活動支援</b>  <b>&lt;中期計画 1-2&gt; &lt;ひっと ひろがる-2&gt;</b></p> <p>「港北みんなの助成金」を通じ、港北区内のボランティアグループ・当事者活動・介護予防活動等の支援を行います。また、新規立上げ区分を設け、家事・生活支援活動やつどいの場といった活動等の創出支援を行います。      昨年度に引き続き団体へのヒアリングを行い、助成団体からの要望を伺うことで今後の活動・運営の支援につなげていきます。</p> <p>◆助成規模 23,150千円</p>	<p>単位:千円          [ ]前年度予算額</p> <p>24,464 [24,210]</p> <p>(市社協補助金) 12,967          (寄付金(善銀)) 820          (共同募金) 2,677          (年末たすけあい) 8,000</p>
<p><b>6 地区社会福祉協議会の支援【重点】</b>  <b>&lt;中期計画 1-3、5-2&gt; &lt;ひっと つながる-1&gt;</b></p> <p>地域住民に一番身近な地区社協事業の標準化と強化、住民の方々に信頼される地区社協運営の適正化を図り、地区社協の運営を安定的・継続的に行うとともに、活動の充実をはかる支援を行います。また中間支援機能を活かした「地域住民とともに取り組む福祉のまちづくり」の具現化に向けた支援を引き続き行います。</p> <p>特に、地区社協や地域団体が行う配食、サロン、たすけあい型ボランティア活動などの推進に向けた支援を強化します。</p> <p>(1)地区社協分科会の開催          ◆会長・事務局長合同会議(年5回)          区社協から地区社協へ組織的に依頼する機会、地区社協支援の方向性の確認の機会とします。「ひっとプラン港北」地区別計画推進の進捗状況の報告なども行います。          ◆事務局長会議(年4回)          地区社協が抱える様々な課題を解決していくための具体策と、それを実践するための検討をする機会とします。</p> <p>(2)「地区活動チェックシート(第2版)」の作成と運用          「地区活動のチェックシート」を事業内容と経年変化が見える様式を継続利用し、事業分布等の分析を行います。また、課題の共有等を通して地区社協の力量強化と区社協との連携強化を図ります。</p> <p>(3)地区社協研修の実施          ◆地区社協役員 新任研修          地区社協の新役員が揃う6月頃に、募金や会費の意義目的や流れ、分科会、予算・決算との関連などについての研修を行います。          ◆地区役員 フォローアップ出張研修          当該地区の課題や求めに応じた内容の研修を地域に出向いて実施します。</p> <p>(4)地区社協役員と区社協事務局との懇談会          地区の次年度の方針をヒアリングし、その支援と区社協事業への反映を目的に1～2月にかけて実施します。</p> <p>(5)「地区社協啓発リーフレット」の配布          13地区毎に作成したリーフレット(27年度更新)を活用し、地区社協活動の周知を行います。</p> <p>(6)地区社協会員助成申請様式(港北モデル)の作成          13地区社協活動において、会員団体への活動助成に活用できる申請報告のモデル様式を作成し、賛助会費事業助成金や年末募金活動推進費といった主たる財源の理解啓発と透明化を図ります。</p>	<p>単位:千円          [ ]前年度予算額</p> <p>18,870 [17,218]</p> <p>(賛助会費) 18,520          (市社協補助金) 350</p>

<p>(7)助成金を通じた支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆地区社協活動運営費(市社協補助金)の交付</li> <li>◆地区社協事業助成金(賛助会費)の交付</li> <li>「地区活動チェックシート」の結果と助成要綱に基づき助成金を交付します。</li> <li>◆地区社協活動推進費(年末たすけあい募金)の交付</li> <li>年末たすけあい運動の募金より、地区社協の運営費・事業費を交付します。</li> </ul>							
<p><b>7 福祉保健活動拠点の運営</b></p> <p>横浜市より28年度から32年度の5年間、港北区福祉保健活動拠点の指定管理者に指定されています。より公平・公正な利用・利用者ニーズに即した運営と、信頼される拠点運営を目指します。</p> <p>(1)利用調整会議の開催(年2回)</p> <p>(2)防災訓練の実施(年2回)</p>	<p style="text-align: right;">単位:千円</p> <p style="text-align: right;">〔 〕前年度予算額</p> <p style="text-align: right;">16,496 [16,496]</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">(市受託金)</td> <td style="text-align: right;">15,969</td> </tr> <tr> <td>(市社協補助金)</td> <td style="text-align: right;">260</td> </tr> <tr> <td>(負担金)</td> <td style="text-align: right;">267</td> </tr> </table>	(市受託金)	15,969	(市社協補助金)	260	(負担金)	267
(市受託金)	15,969						
(市社協補助金)	260						
(負担金)	267						

## IV ボランティア活動の推進

### 1 区社協ボランティアセンターの強化【重点】

＜中期計画 3-7＞ ＜ひっと ひろがる-1＞

ひっとプラン港北の柱「ひろがる」では、地域活動の担い手拡充を目標に掲げています。センター体制を活かし、区域のボランティアセンターとしての機能をより強化します。

#### (1) ボランティアコーディネートの向上

28年度10月よりボランティアコーディネーターを職員化し、相談内容の分析を強化したことを受け、コーディネートの向上に向け関係機関・団体とのつながりづくりを強化していきます。

ボランティア連絡会とのこれまでのつながりを活かし、定例会でアドバイスを受けながら、地域の団体とのネットワークも大切にしていきます。依頼者を地域のグループと意識的につないでいき、機関どうしをつないだり講座を開催するなど、「つなげる」「ひろがる」取り組みを強化していきます。

#### ◆コーディネーター定例会(事例検討)・勉強会開催

#### ◆港北区ボランティアセンターの情報発信

- ・毎月更新のニーズ情報発信【拡充】
- ・センター受付の情報ラックの整理【継続】
- ・依頼者向けパンフレットの作成【拡充】
- ・福祉教育担当者と連携したボランティア講座の仕組みづくり【拡充】

#### (2) コーディネート機関・団体の連絡会の開催

コーディネート機関・団体等との連携を促進するため、連絡会を開催します。そこから得られた個別の事例を地域の課題としてとらえ、複数機関と協力しながらニーズの共有・解決に取り組みます。

#### ◆連絡会の開催(年1回)

#### (3) 西部方面ボランティアセンター「やすらぎの家」の運営

①コーディネーター研修の実施、②ボランティア体験学習の実施、③ミニサロンの開催を柱に、【地域性を活かしたボランティアセンターづくり】をすすめる他、区ボラセンとしての運営のありかたを検討します。

#### (4) ボランティアセンター運営委員会の開催

多様な立場の委員により、ボランティア活動の活性化と港北区ボランティアセンターの積極的運営を目的として開催します。(年2回)

#### ◆協議内容 ボランティア登録者の拡充、事業の企画・立案・評価など

#### (5) 目的、対象、ニーズに応じた入門・育成講座の企画・実施

#### ◆傾聴講座【9月実施予定】

福祉に関する活動を行っていく上では欠かせない傾聴・コミュニケーション技術の習得を目的として開催します。

#### ◆精神保健ボランティア講座【3月実施予定】

精神保健分野で活動するボランティアの育成講座を開催します。

#### ◆趣味を生かした地域デビュー講座【時期未定】

#### (6) 施設間連携の強化【新規】

区内の地域施設間の連携を強めることにより、取組や情報の共有を進め、福祉人材の確保やコーディネートの向上に結び付けます。

単位:千円	
[ ]前年度予算額	2,507 [2,873]
(市社協補助金)	20
(寄付金(善銀))	135
(雑収入)	123
(市補助金)	2,249

<p><b>2 ボランティアセンターの広報・情報機能強化</b>  <b>&lt;中期計画 3-7&gt; &lt;ひっと ひろがる-1&gt;</b></p> <p>ボランティアセンター情報・ボランティア募集情報をはじめ区内福祉保健関係施設・団体の情報を提供することでボランティアセンター機能を住民に周知し、地域福祉活動への参加を促進します。</p> <p>(1)「ボランティアセンター通信」発行（再掲） ※広報紙「ふくしのまど」参照</p> <p>(2)登録者向けボランティア募集情報の発信  登録者の情報更新を行うとともに、ボランティア募集情報を登録者へ送付し、ボランティア活動を促進します。また年1回の交流会・勉強会を通じてボランティア同士をつなげるとともに、活動者の現場の声を吸い上げてコーディネートに活かしていきます。市ボランティアセンターのメール配信サービスの利用、ホームページを活用し、多様な媒体での周知を行います。広報部門と協力し、SNSを活用した発信も検討します。</p> <p>(3)ニード情報、活動団体情報の掲示【新規】  ボランティアセンター・福祉保健活動拠点内に各種情報をわかりやすく掲示して、情報提供していきます。地域の会議等で配布できるように、情報発信だけでなくボランティアの声などいれながら毎月発行します。  またセンター受付の情報コーナーを整理し、誰でも気軽に手に取れるようなわかりやすいものに更新していきます。</p> <p>(4)ホームページを通じたボランティア情報の発信  区社協のホームページを通じてボランティア情報を発信することで、より多くの方が容易にボランティア情報を入手できるようにします。また市ボランティアセンターのメールサービスを利用しメール配信を行います(再掲)</p> <p>(5)区民活動支援センターと連携した情報発信  区民活動支援センターと連携し、日頃の情報共有につとめるとともに、区役所1階の掲示板にて、ボランティア募集情報の提供をしていきます。</p> <p>(6)区社協オリジナル広報紙の発行  区社協オリジナルの広報紙を年2回発行し、地域の情報やボランティア活動報告など区民に身近な記事掲載を行います。(再掲)</p>	<p>単位:千円  〔 〕前年度予算額</p>
<p><b>3 港北区災害ボランティア連絡会の運営</b>  <b>&lt;中期計画 5-11&gt; &lt;ひっと とどく-3&gt;</b></p> <p>港北区災害ボランティア連絡会の事務局として、災害ボランティアコーディネーターの育成、災害ボランティア活動の普及・啓発に協力します。また28年度より実施している太尾防犯拠点センターとの訓練を継続して行います。  横浜市災害ボランティアセンターや近隣区の災害ボランティアセンターとの連携を強化し、災害時に対応できる体制を整備します。</p> <p>(1)災害ボランティア連絡会定例会(8月以外月1回開催)  (2)災害ボランティアシミュレーション  (3)災害ボランティアセミナー  (4)視察研修  (5)災害ボランティア連絡会ニュース(毎月発行)  (6)青葉区、都筑区、緑区、港北区の4区でブロック会議の開催(年3回)  (7)太尾防犯拠点センターをはじめとした、地域の拠点との連携訓練  (8)横浜市災害ボランティアセンターや近隣区の災害ボランティアセンターとの連携強化</p>	<p>単位:千円  〔 〕前年度予算額</p> <p>74 [74]</p> <p>(市社協補助金) 40  (寄付金(善銀)) 34</p>

<p><b>4 福祉教育の推進</b>  &lt;中期計画 3-1、3-2 &gt; &lt;ひとつ ひろがる-2、ひろがる-3&gt;</p> <p>学校の授業意図や取組み方法に迅速かつ柔軟に対応することで、区内福祉教育の質の向上を図ります。</p> <p>(1) ボラリーグ★こうほくの実施  福祉教育の充実を図り、次世代の活動者を育成します。  ◆ ボランティア体験講座の実施  子育て支援拠点「どろっぷ」との協働事業  協力：区内子育てサロン、区内保育所、地域ケアプラザ等  ◆ 夏休みボランティア講座の実施(やすらぎの家)</p> <p>(2) 福祉教育相談調整機能の充実  福祉の体験学習に関する相談対応や協力者紹介などを、当事者や地域ケアプラザと連携し、円滑に進めます。  依頼者である教育機関のニーズに幅広く応えるとともに、区社協の福祉教育を周知していきます。</p> <p>(3) 「先生のための福祉講座(市域)」の実施(市社協、18区社協の共催)  教員が、地域福祉や当事者への理解を深め、今後の学校教育に活かせる視点や手法等を修得することを目的として開催します。</p> <p>(4) 福祉教育機材の貸出  福祉教育で使用する機材について貸出を行い、劣化した福祉機材について、補修または補充します。</p> <p>(5) 企業とのネットワークづくり  地域貢献活動を行う企業とのネットワークづくりに努めます。企業と地域のつながりを作り、社会貢献の具体例を示すなど情報提供を通して地域活動とのつながりや取組の活性化を図ります。</p>	<p>単位：千円  〔 〕前年度予算額</p> <hr/> <p>122 [122]</p> <p>(市社協補助金) 81  (共同募金) 41</p>
<p><b>5 善意銀行の運営</b></p> <p>区内の福祉活動・市民活動を支援する貴重な財源として有効に活用します。また、指定配分廃止にとめない、使い道についてよりいっそうわかりやすい周知とPRに努めます。そのために、パンフレットを更新します。(新規)</p>	<p>単位：千円  〔 〕前年度予算額</p> <hr/> <p>1,500 [2,000]</p> <p>(寄付金(善銀)) 1,500</p>



<p><b>4 在宅福祉分科会の開催</b>  &lt;中期計画 4-1&gt; &lt;ひっと ひろがる-2&gt;</p> <p>年齢や障がいの有無を問わず、支援を必要としている人が在宅で安心して暮らしていくために、福祉・保健・医療分野のフォーマルサービス・インフォーマルサービスが連携して支援していくための仕組みづくりを検討します。</p>	<p>単位:千円  〔 〕前年度予算額  55  (正会費) 55</p>
<p><b>5 障がい者セーフティネット分科会の開催</b>  &lt;中期計画 3-5&gt; &lt;ひっと ひろがる-1&gt;</p> <p>「障がい理解の促進」と「障がい当事者と地域とのつながり」を柱とした事業展開を図ります。参画者で必要のある活動を整理し検討した、下記のテーマに基づいて活動を進めます。</p> <p>◆「地域防災拠点に参加して障がい児者の受入について考えてもらおう！」  ◆「障がい理解のための啓発活動を通して、共に障がいを知ろう！」</p> <p>昨年度に引き続き、リーフレットを活用し、地域防災拠点へ働きかけ、障がい当事者受入について検討の機会を広げます。また、定例開催の分科会等において、各分野の障がいについて理解促進のための発信をする場を設けます。</p>	<p>単位:千円  〔 〕前年度予算額  230</p>
<p><b>6 保育所分科会の開催</b>  &lt;中期計画 4-1&gt; &lt;ひっと ひろがる-2&gt;</p> <p>区社協分科会だからこそできる、公立・私立の枠を超えたネットワークづくりを活かして、港北における子育てをめぐる諸課題共有・解決の場とします。また、地域組織や団体と連携して子育てを考える機会を設けます。</p> <p>◆分科会活動として各園による情報交換、研修会を年6回開催します。  ◆「わくわく子育て広場」への支援を行います。</p>	<p>単位:千円  〔 〕前年度予算額  -</p>
<p><b>7 苦情解決システムの充実</b></p> <p>利用者が意見・要望を言いやすい、また利用者からの意見や要望を受け入れやすい環境をつくるとともに、苦情をニーズとして受け止め、利用者の権利擁護、事業・サービスの質の向上に努めます。</p> <p>また、窓口満足度調査の実施やご意見箱の運用により、ご意見・要望等を聴取し、業務の改善に努めます。</p>	<p>単位:千円  〔 〕前年度予算額  -</p>
<p><b>8 リスクマネジメントの推進</b></p> <p>リスクマネジメントを職員間で徹底するとともに、事故等についての基本的な対応を明確にします。また、スケールメリットを活かし、職員全体研修等を通じて事例による検討を行い、事故防止に努めます。</p> <p>(1)防災計画、事業継続計画(BCP)の改訂  計画の見直し、更新を図るとともに、緊急備蓄物資の整備など災害時初動体制を構築します。</p> <p>(2)職員全体研修(年3回)  職員全体研修を通じて、防災計画、BCP等のリスクマネジメントの徹底を図ります。</p>	<p>単位:千円  〔 〕前年度予算額  1,480  (繰越金) 1,480</p>

<p><b>9 情報公開・個人情報保護制度の運用</b></p> <p>社会福祉法の理念に立ち、透明性の高い事業運営を行います。また、平成29年5月から全面施行される、改正個人情報保護法に対応した個人情報の適切な取り扱いを徹底して、信頼性の高い運営を行います。</p>	<p>単位:千円 〔 〕前年度予算額</p> <p>-</p>
<p><b>10 財政運営の適正化</b></p> <p>自主財源な安定的を確保により、財政運営の適正化を図ります。</p> <p>◆正会費 一団体 5,000円 ◆世帯会費 ◆賛助会員運動 一口 2,000円 ◆善意銀行 ◆共同募金・年末たすけあい運動</p>	<p>単位:千円 〔 〕前年度予算額</p> <p>- [1,083] (賛助会費)</p>
<p><b>11 職員の育成</b></p> <p>市社協内部研修やウィリング横浜などの研修に参加して、職員それぞれがもつ業務の専門性を高めるため、必要な知識、技術の研鑽に努めます。さらにMBOや人事考課制度を活用して、一人ひとりの職員が立場と組織目標を認識して業務遂行していきます。(市社協人材育成計画に沿った職員育成)</p> <p>また、小地域支援を事業の柱とする区社協の職員に必要なスキルを高めるため、地区別・事業別業務ミーティングを月2回、内部研修を年3回開催します。</p>	<p>単位:千円 〔 〕前年度予算額</p> <p>-</p>
<p><b>12 法人運営事務の効率化</b></p> <p>ITの活用等により法人運営事務の効率化を図ります。</p> <p>(1)インターネットバンキングの活用 (2)グループウェアの活用およびスケジュール管理の効率化 (3)会員・名簿管理ソフトの開発検討</p>	<p>単位:千円 〔 〕前年度予算額</p> <p>240 (繰越金) 240</p>
<p><b>13 団体事務</b></p> <p>福祉関係6団体の事務局として、各団体の自主的活動を支援するとともに、団体との連携により、地域福祉を推進します。</p> <p>【団体事務局】 神奈川県共同募金会港北区支会、日本赤十字社神奈川県支部港北区地区委員会、港北保護司会、港北区更生保護女性会、港北区遺族会、港北区「社会を明るくする運動」実施委員会</p>	<p>単位:千円 〔 〕前年度予算額</p> <p>-</p>

## 横浜市社協長期ビジョン 2025 中期計画 (H26～H30)

### 重点取組 1 身近な地域のつながり・支えあい活動の推進

NO.	事業 NO.		事業名
1	重点	1-1	身近な地域のつながり・支えあい活動推進事業
2	重点	1-2	地域の支えあい活動のための担い手育成
3		1-3	地区社協支援強化
4		1-4	区地域福祉保健計画(地区別計画)の推進
5		1-5	生活困窮者自立支援法への対応

### 重点取組 2 地域における権利擁護の推進

NO.	事業 NO.		事業名
6	重点	2-1	権利擁護事業
7	重点	2-2	法人後見事業
8	重点	2-3	市民後見人養成・活動支援事業
9	重点	2-4	横浜市障害者後見的支援制度

### 重点取組 3 幅広い福祉保健人材の育成

NO.	事業 NO.		事業名
10	重点	3-1	幅広い福祉教育(啓発)の実施
11	重点	3-2	企業の地域貢献活動の充実
12	重点	3-3	当事者の想いが実現できる地域づくり
13	重点	3-4	福祉保健従事者の育成
14		3-5	「セーフティーネットプロジェクト横浜」支援事業
15		3-6	地域福祉活動推進者の養成
16		3-7	ボランティア活動の推進・支援事業
17		3-8	福祉人材の確保支援事業

### 重点取組 4 会員活動と地域福祉の推進

NO.	事業 NO.		事業名
18	重点	4-1	会員の拡充と連携による協議体としての機能強化
19	重点	4-2	市社協と区社協の部会(分科会)活動の推進
20	重点	4-3	部会を超えた課題解決の仕組みづくり

### 重点取組 5 社協の発展に向けた運営基盤の強化

NO.	事業 NO.		事業名
21	重点	5-1	調査・研究・企画および広報機能の強化
22	重点	5-2	地域福祉活動財源確保の取組強化
23	重点	5-3	災害に備えた職員の配置体制や業務継続計画の整備
24		5-4	人事異動、人事考課、研修を含めた人材育成の推進
25		5-5	横浜市地域福祉保健計画の推進
26		5-6	移動情報センター
27		5-7	外出支援サービス(委託事業)
28		5-8	生活福祉資金貸付事業
29		5-9	効果的な助成金制度の構築・実施
30		5-10	市社協運営施設の機能強化
31		5-11	災害時のボランティアコーディネート機能の推進



# 平成29年度港北区社協一般会計予算の状況

\* 平成29年度の収入予算総額は176,230,000円(内部取引消去前:207,060,000円)です。28年度と比較して、13,293,000円増額ですが、前年度繰越金とサービス区分繰入金の増が主な理由で、実質的には前年度とほぼ同額と言えます。繰越金とサービス区分繰入金を除いた収入総額に対する会費収入の割合は約21パーセントと高い比率となっています。

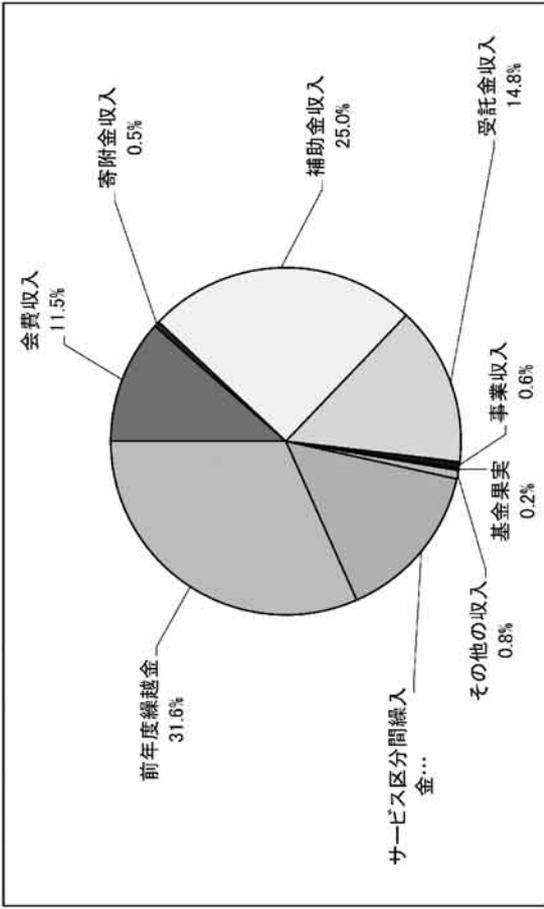
\* 支出については、予備費支出を除くと総額としては約100万円の増となっています。

(単位:千円)

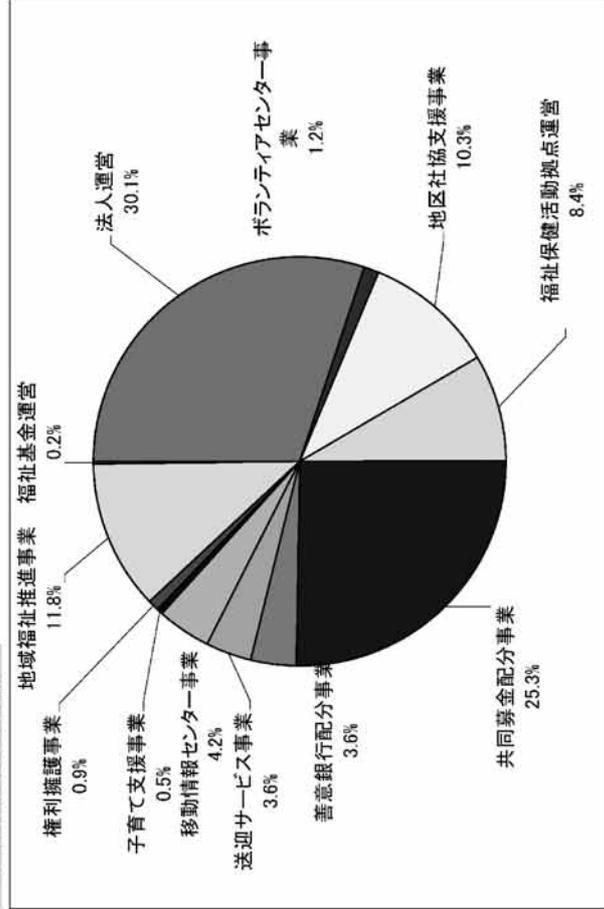
財源別収入項目	28年度予算額	29年度予算額	割合	増減額	説明
会費収入	23,686	23,915	11.5%	229	
寄附金収入	2,000	1,054	0.5%	△ 946	寄付金実績の減
補助金収入	51,469	51,777	25.0%	308	
市社協補助金	701	587		△ 114	
県社協補助金	100	150		50	
共同募金基金配分金収入	36,304	37,181		877	
その他補助金	14,364	13,859		△ 505	
受託金収入	30,727	30,717	14.8%	△ 10	
市区町村受託金	20,112	20,111		△ 1	
都道府県受託金収入	3,940	3,772		△ 168	
市社協受託金収入	3,265	3,424		159	
その他受託金	3,410	3,410		0	
事業収入	1,296	1,281	0.6%	△ 15	
基金果実等	376	376	0.2%	0	
その他の収入	1,582	1,628	0.8%	46	
サービス区分繰入金	21,146	30,830	14.9%	9,684	共同募金からの繰入金増
前年度繰越金	51,801	65,482	31.6%	13,681	遺贈による寄付金増等
収入合計	184,083	207,060	100%	22,977	
内部取引消去	△ 21,146	△ 30,830	-	△ 9,684	
拠点合計	162,937	176,230	-	13,293	

事業別支出項目	28年度予算額	29年度予算額	割合	増減額	説明
法人運営	59,845	62,246	30.1%	2,401	人件費増、災害備蓄物資買置の増
ボランティアセンター事業	2,392	2,439	1.2%	47	
地区社協活動支援事業	18,134	21,264	10.3%	3,130	賛助会費還元金の増
福祉保健活動拠点運営	16,719	17,456	8.4%	737	
共同募金配分事業	46,133	52,414	25.3%	6,281	予備費支出の増
善意銀行運営	6,222	7,389	3.6%	1,167	
送迎サービス事業	5,477	7,420	3.6%	1,943	予備費支出の増
移動情報センター事業	13,007	8,768	4.2%	△ 4,239	人件費の減
権利擁護事業	869	969	0.5%	100	
地域福祉推進事業	655	1,807	0.9%	1,152	ニーズ調査費の増
みんなの助成金配分事業	14,254	24,472	11.8%	10,218	サービス区分繰入金収入の増
福祉基金	376	416	0.2%	40	
支出合計	184,083	207,060	100%	22,977	
内部取引消去			-	0	
拠点合計	184,083	207,060	-	22,977	

## 収入財源の内訳



## 事業別支出の内訳



平成29年度 資金収支予算総括表

区分 (事業ごとの会計)	事業活動による収支 (日常的な資金の収支)			施設整備等による収支 (固定資産物品の購入などの収支)			その他の活動による収支 (基金積立金や借入金などの収支)			当期資金収支差額 ③+⑥+⑨-⑩ (今年度の予算残額)	前期末支払資金残高 ⑫ (前年度からの繰越金)	当期末支払資金残高 ⑩+⑫ (来年度への繰越金)	
	収入①	支出②	収支差額 ③=①-②	収入④	支出⑤	収支差額 ⑥=④-⑤	収入⑦	支出⑧	収支差額 ⑨=⑦-⑧				予備費支出⑩
<b>社会福祉事業</b>													
法人運営及び区社協実施事業	110,748	121,401	△ 10,653	0	0	0	30,830	30,830	0	54,829	△ 65,482	65,482	
1 法人運営	28,579	19,910	8,669	0	0	0	2,496	16,602	△ 14,106	25,734	△ 31,171	31,171	
2 ボランティアセンター事業	305	569	△ 264	0	0	0	210	0	210	1,870	△ 1,924	2,228	
3 地区社協活動支援事業	350	15,606	△ 15,256	0	0	0	15,256	0	15,256	5,658	△ 5,658	5,658	
4 福祉保健活動拠点運営	16,496	15,989	507	0	0	0	0	0	0	1,467	△ 960	960	
5 共同募金配分事業	36,496	29,689	6,807	0	0	0	0	11,102	△ 11,102	11,623	△ 15,918	15,654	
6 善意銀行運営	1,500	23	1,477	0	0	0	0	2,710	△ 2,710	4,656	△ 5,889	5,889	
7 送迎サービス事業	4,067	4,493	△ 426	0	0	0	317	0	317	2,927	△ 3,036	3,036	
8 移動情報センター事業	8,139	8,767	△ 628	0	0	0	629	0	629	1	0	0	
9 権利擁護事業	438	438	0	0	0	0	0	0	0	531	0	531	
10 地域福祉推進事業	350	1,452	△ 1,102	0	0	0	1,102	0	1,102	355	△ 355	355	
11 みんなの助成金配分事業	13,652	24,465	△ 10,813	0	0	0	10,820	0	10,820	7	0	0	
12 福祉基金	376	0	376	0	0	0	0	416	△ 416	0	△ 40	△ 40	
合計	110,748	121,401	△ 10,653	0	0	0	30,830	30,830	0	54,829	△ 65,482	65,482	
内部取引消去	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
拠点区分合計	110,748	121,401	△ 10,653	0	0	0	30,830	30,830	0	54,829	△ 65,482	65,482	

(単位:千円)

# 港北区社会福祉協議会 正会員名簿

連番	団体名	連番	団体名	連番	団体名	連番	団体名
<b>第1種 公私社会福祉事業施設及び団体</b>		<b>第3種 地区社会福祉協議会</b>		<b>第5種 当事者団体</b>		<b>第6種 ボランティア団体</b>	
1	横浜市港北保育園	74	1 日吉地区社会福祉協議会	100	1 港北ひまわり会	149	1 港北録音グループ
2	横浜市大曽根保育園	75	2 綱島地区社会福祉協議会	101	2 グループ赤いくつ	150	2 拡大写真グループ赤いくつ
3	横浜市南日吉保育園	76	3 大曽根地区社会福祉協議会	102	3 めだか会	151	3 手話サークル梅の会
4	横浜市菊名保育園	77	4 樽地区社会福祉協議会	103	4 肢体不自由児者父母の会	152	4 手話サークルあじさいの会
5	横浜市太尾保育園	78	5 菊名地区社会福祉協議会	104	5 視覚障害者福祉協会	153	5 日吉地区社協ボランティア部会
6	岸根保育園	79	6 師岡地区社会福祉協議会	105	6 港北区聴覚障害者協会	154	6 篠原地区ボランティア連絡会
7	菊名愛児園	80	7 大倉山地区社会福祉協議会	106	7 肢体障害者福祉協会	155	7 綱島東ボランティアグループ
8	尚花愛児園	81	8 篠原地区社会福祉協議会	107	8 白梅会	156	8 樽町わかば会
9	おおつな保育園	82	9 城郷地区社会福祉協議会	108	9 障害者地域活動ホームともだちの丘	157	9 大曽根やすらぎ共食会
10	第二福澤保育センター	83	10 新羽地区社会福祉協議会	109	10 障害者地域活動ホームしもだ	158	10 光輪
11	11 老人福祉センター菊名寿楽荘	84	11 新吉田地区社会福祉協議会	110	11 地域作業所かしの木ホーム	159	11 NPO法人まごころ居宅介護支援センター
12	12 港北みどり園	85	12 新吉田あすなろ地区社会福祉協議会	111	12 コスモス工房	160	12 配食よつ葉会
13	13 港北福祉産所	86	13 高田地区社会福祉協議会	112	13 NPO法人中途障害者地域活動センター港北根っこ会	161	13 みちくさの会
14	14 横浜らいず			113	14 IHIKARI	162	14 NPO法人グループおおきな木
15	15 新吉田地域ケアプラザ		<b>第4種 自治会・地区連合町内会</b>	114	15 NPO法人精神保健を考える会いんぽろぶ セサミ工房	163	15 ふくしの和高田
16	16 篠原地域ケアプラザ	87	1 日吉地区連合町内会	115	16 介護を考えるぶどうの会	164	16 NPO法人愛こころ港北
17	17 高田地域ケアプラザ	88	2 綱島地区連合自治会	116	17 四季菜館	165	17 仲手原マザークラブ
18	18 下田地域ケアプラザ	89	3 大曽根自治連合会	117	18 NPO法人精神保健を考える会いんぽろぶホムア大綱	166	18 港北食事サービスW.colほっと
19	19 大豆地域ケアプラザ	90	4 樽町連合町内会	118	19 地域作業所ごぼうハウス	167	19 師岡ひまわり
20	20 樽町地域ケアプラザ	91	5 菊名地区連合町内会	119	20 横浜北部失語症友の会	168	20 綱島つくしの会
21	21 ワゲン新横浜	92	6 師岡地区連合町内会	120	21 グループホーム港北七番館	169	21 生涯現役つなしま会
22	22 新横浜さわやか苑	93	7 大倉山地区連合町内会	121	22 いろえんぴつ	170	22 綱島西地区ボランティアグループ
23	23 城郷小机地域ケアプラザ	94	8 篠原地区連合自治会	122	23 NPO法人精神保健を考える会いんぽろぶ フレスコ日記	171	23 花しょうぶ
24	24 しんよした保育園	95	9 城郷地区連合町内会	123	24 グループホームよつばホーム	172	24 NPO法人 精神保健を考える会いんぽろぶ
25	25 ベガサス新横浜保育園	96	10 新羽町連合町内会	124	25 社会福祉法人かかれん家族の会	173	25 ボランティアグループもみじの会
26	26 ベガサスベビー保育園	97	11 新吉田町連合町内会	125	26 NPO法人楠の木学園	174	26 菊名すみれ会
27	27 ベガサス夜間保育園	98	12 新吉田あすなろ連合町内会	126	27 きずなの会	175	27 ふたばの会
28	28 森の樹保育園	99	13 高田町連合町内会	127	28 地域生活支援センター 海	176	28 綱島公園プレイパーク管理運営委員会
29	29 アスク11吉本町開湾保育園			128	29 社会福祉法人 陽だまりの会	177	29 NPO法人あいあい
30	30 オハナ新羽保育園		<b>第7種 その他社会福祉に関係ある団体</b>	129	30 グループホーム第2よつばホーム	178	30 子育てサロンはひるへぼ運営委員会
31	31 横浜りとるぼんがきんず	207	1 港北区老人クラブ連合会	130	31 あおぞら会	179	31 NPO法人びーのびー
32	32 ウェルケア新吉田	208	2 港北保護司会 ※	131	32 横浜ラポール・アトム会	180	32 はあとネットワーク港北
33	33 ナーシングプラザ港北	209	3 港北区更生保護女性会	132	33 高田パソコンクラブ	181	33 コミバス市民の会
34	34 ショートステイセンターすいらん	210	4 港北区造族会	133	34 しんよこはま地域活動ホーム	182	34 横浜港北おもちゃドクターの会
35	35 ポピンズナーサリー小机	211	5 港北区保健活動推進員会	134	35 NPO法人地域で生きる障がい者を支える会	183	35 城郷ふれあいの会
36	36 特別養護老人ホーム ニューバード	212	6 港北区子ども育成連絡協議会	135	36 さくらんぼの会	184	36 グループひまわり
37	37 日吉本町地域ケアプラザ	213	7 港北区スポーツ推進委員連絡協議会	136	37 社会福祉法人 かかれん	185	37 キッチン・いこい
38	38 くつおさんぽ保育園	214	8 港北区青少年指導員協議会	137	38 わーくす太尾	186	38 岸根むつみ会(転ばんよう体操)
39	39 マーマシのほら保育園	215	9 港北区体育協会	138	39 木10会(もくてんかい)	187	39 おはなしな〜に?
40	40 森のエルマー保育園	216	10 港北少年補習員連絡会	139	40 サ・ストロークス スポーツクラブ みなと会	188	40 生涯学習グループ大地
41	41 星保育園	217	11 横浜山港北区仏教会	140	41 しもだ青年クラブ	189	41 子育てサロンびびたる
42	42 光の園保育園	218	12 けい成会 尚花愛児園後援会	141	42 しらゆり会	190	42 とことこの会
43	43 介護老人福祉施設新吉田	219	13 日本赤十字社港北区地区委員会	142	43 横浜ドリーマー ビームライフル倶楽部	191	43 太尾ふれあいのクラブ
44	44 なあな保育園	220	14 NPO法人子育てひろば旬町連絡協議会	143	44 梅の実同好会	192	44 NPO法人プリムスラボ
45	45 横浜保育空キッズラディ	221	15 港北・家事介護ワーカーズプロジェクト「すずみ」	144	45 リンデン	193	45 ほっとステーションバル
46	46 大倉山保育園	222	16 横浜福祉サービス協会 港北介護事務所	145	46 一般社団法人 ベガサス	194	46 移動サロンのコースコクティブ らら・むらぶ港北
47	47 たんぽぽ保育園	223	17 港北区医師会	146	47 横浜ドリーマーポップ	195	47 WAIWAIみんなの箕輪クラブ
48	48 港北コスモス保育園	224	18 港北歯科医師会	147	48 生活ホーム愛美 ゆめ	196	48 港北子育て懇談会
49	49 たかた保育園	225	19 港北区薬剤師会	148	49 光る波	197	49 わだの会
50	50 新羽地域ケアプラザ	226	20 港北区小学校校長会			198	50 上井町茶話会
51	51 ちいさなお保育園	227	21 港北区中学校校長会			199	51 どんぐりGG会
52	52 あい保育園高田東	228	22 公益社団法人 神奈川県社会福祉士会横浜支部港北区連絡会			200	52 非営利活動法人 COREI
		229	23 日総ニフティ株式会社			201	53 かめめのつどい
		230	24 NPO法人日本スマートライフ協会			202	54 デイサービスりんどうの会
		231	25 NPO法人ウィル			203	55 港北ちよぼらもの会
		232	26 NPO法人日吉子育て応援団			204	56 ほのぼ〜の会
		233	27 NPO法人WI:21ジャパンこうほく			205	57 スリーA教室 元気!!
		234	28 一般社団法人 認知症高齢者研究所			206	58 憩いの家さざんか
		235	29 株式会社ひまわり訪問看護ステーション				
		236	30 株式会社 住宅型有料老人ホーム ムート綱島				
		237	31 社会福祉法人 横浜共生会				
		238	32 NPO法人パンピーまなび塾				
			<b>第8種 社会福祉関係行政機関</b>				
		239	1 区 福祉保健センター長				
		240	2 区 福祉保健センター担当部長				
		241	3 区 福祉保健課				
		242	4 区 高齢・障害支援課				
		243	5 区 子ども家庭支援課				
		244	6 区 学校連携・こども担当				
		245	7 区 生活支援課				
		246	8 区 地域振興課				
		247	9 港北警察署				
		248	10 港北消防署				
		249	11 港北公共職業安定所				
			<b>第9種 学識経験者</b>				
		250	1 綱島幼稚園				
		251	2 日吉台光幼稚園				

※第2種民生委員・児童委員 および 第7種港北保護司会 は 個人会員として加入いただいています。(本会会員規程に拠る)